

## 令和5年度 茨城県農業青年プロジェクト実績発表会を開催します！

農業経営や地域農業の発展を目指し、自分が持つ農業への想いを発表する意見発表<sup>※1</sup>や  
創意工夫に満ちたプロジェクト活動<sup>※2</sup>の成果発表を行う「茨城県農業青年プロジェクト実  
績発表会」を下記のとおり開催いたします。

将来の本県農業のリーダーとして活躍が期待される青年農業者が多数集まり、相互に研  
鑽する姿を是非取材いただけますようお願いいたします。

- 1 日時 令和6年2月8日(木)12時00分から17時40分(11時30分から受付開始)
- 2 場所 茨城県庁 9階講堂(水戸市笠原町978-6)
- 3 主催 茨城県農業研究クラブ連絡協議会、茨城県
- 4 参加者 県内の農業青年クラブ<sup>※3</sup>員、関係指導機関・団体職員等 約150名
- 5 日程 (開会式から表彰式・閉会式まで御取材いただくことが可能です。)

時間	次第	内容
12:00~12:25	開会式	主催あいさつ 来賓あいさつ
12:25~15:50	意見発表 プロジェクト発表	意見発表 2課題 プロジェクト発表 11課題 (発表課題は別紙参照)
16:00~16:50	講演会	テーマ：スマート農業ツール(Z-GIS・ザルビオ)の紹介 講師：全国農業協同組合連合会 茨城県本部
17:00~17:40	表彰式・閉会式	審査講評 表彰



プロジェクト発表の様子(令和4年度)



意見発表の様子(令和4年度)

- ※1 青年農業者が、農業青年クラブ活動、農業経営、農家生活、ボランティア活動などの日頃の体験を通じて、自らが取り上げた課題に対する考えを述べるもの。
- ※2 より良い農業経営を実現するために、個人又はグループで経営上の諸問題の解決に取り組むもの。栽培技術の向上や販路開拓をはじめ、地域交流まで様々なプロジェクトが取り組まれている。
- ※3 将来の日本の農業を支える20~30代前半の若い農業者(青年農業者)を中心に組織され、プロジェクト活動をはじめ、消費者や他クラブとの交流、地域ボランティア活動を行う。

### ■お問い合わせ先

・茨城県農業総合センター 企画情報部 企画調整課【久保田、原、山口】

TEL : 0299-45-8321 FAX : 0299-45-8350 Email : yuu.yamaguchi @pref. ibaraki. lg. jp

(別紙)

令和5年度 茨城県農業青年クラブプロジェクト実績発表会  
発表者及び発表課題名一覧

会場：茨城県庁 9階講堂

＜意見発表の部＞ 12：25～（1課題7分程度）

発表課題名	発表者	地域
人財を活かした新たな農業経営の創出 - 持続可能な農業をめざして -	そのべ じゅんいち 園部 潤一	水戸
「ワークスタイル～オンリーワン農業～」	ほりぐち ごう 堀口 剛	常陸太田

＜プロジェクト発表の部＞ 13：00～（1課題15分程度）

部門	発表課題名	発表者	地域
土地利用	水稲栽培における肥料コスト低減への取り組み	ねもと ゆうすけ 根本 祐輔	稲敷
園芸特産	私の就農、挑戦&改善実践記 イチゴ編	すがや もりぶみ 菅谷 守文	笠間
園芸特産	タイベックマルチの導入による夏場の除草時間削減と増収効果の検証	いわぶち たけひろ 岩淵 毅宏	つくば
園芸特産	未利用資源を活用した六次化 ～太子林檎香茶の開発～	みむら しゅんすけ 三村 俊輔	常陸大宮
園芸特産	生分解性マルチを用いたカンショ栽培の作業省力化および規模拡大の検討	いがわ かずよし 井川 和義	鉾田
土地利用	ドローンを用いた湛水直播栽培の導入による経営改善	よしだ だいき 吉田 大輝	筑西
園芸特産	ブドウ栽培における鳥獣害防除対策	まえかわ ゆうすけ 前川 裕介	土浦
園芸特産	じゃがいも選別機導入による省力効果の検討	いさか よしのり 井坂 芳教	水戸
園芸特産	新天地で挑む！イチゴ観光農園 ～スマート農機を活用して～	よしわら りく 吉原 陸	結城
園芸特産	トマト栽培における総合的病害虫防除方法（IPM）の確立をめざして	やまもと ようすけ 山本 洋輔	行方
園芸特産	マルチの有無が干しいものの品質に与える影響	すずき たつろう 鈴木 達郎	坂東